

穴沢大輔教授 「刑法判例研究ゼミナール」

2021年度 ゼミ生の声

~初めに~

こんにちは！穴沢ゼミ紹介ページを開いて下さりありがとうございます。2021年度ゼミ長の中川結太です。本ページでは穴沢ゼミの魅力や雰囲気を紹介していきたいと思います。皆さんのゼミ決定の助けになれば幸いです。

~活動内容~

21年度は男子7人女子8人の15人で活動しています。春学期はコロナの影響で半分がオンライン授業になりましたが、秋学期は対面授業に移行しています。オンラインでのスタートではありましたが、生徒同士はもちろん先生含めて和気あいあいとした場となっています。

春学期の活動では自己紹介を通してそれぞれの興味のある分野のテーマを先生と相談して決めました。その中で自分が気になった事例を調べ報告します。各テーマの範囲で自分が興味のある事例を調べることができるので、楽しみながら知識を高めていけるのが強みだと思っています。

また、報告の際には、各人が進行役を務めながらほかの生徒達にどのように事例をとらえ、どんな立場を取るのか等を質問して進行していくのですが、自分のテーマ以外にも事前に調べて臨むことで、幅広い知識を得ることができ、またほかの生徒がどのように考えているかがよくわかってとても面白いです。

本年度は先に述べた通り、コロナの関係で本来夏季に行われる予定だった合宿は先送りになりました。今のところの予定ではコロナが落ち着けば3月ごろに行う予定です。行き先は自分たちで決めることができるので、ゼミ生のみんなと候補を出し合っています。

~最後に~

ここまででかなり難しいゼミなのではないかと固くなってしまう人も多いかもしれませんが、でも大丈夫！僕も刑法の知識や理解度はゼミに入るまで全くありませんでしたが、先生のアドバイスやほかの生徒たちの手助けによって問題なく、楽しみながらついていけてます。刑法をもっと深くそして楽しく学んでみませんか。皆さんの参加をお待ちしております。

